

議 事

午前10時30分 開議

○委員長（藤田慶則君） 出席委員は定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を始めます。
なお、欠席通告者は5番佐藤正典委員であります。

各グループでの取りまとめを受けて、グループ代表者連名による附帯決議案が提出されました。この際、これを議題としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤田慶則君） ご異議なしと認めます。よって、附帯決議案を議題とすることに決しました。

令和5年度予算に係る政策提言に関する附帯決議を議題といたします。

直ちに提出者の説明を求めます。

17番千葉敦委員。

○17番（千葉 敦君） 令和5年度予算に係る政策提言に関する附帯決議につきまして提案理由を説明いたします。

令和5年度予算審査に際し課題となった施策に関し、これを令和5年度において解決されるよう、市長に対し政策を提言しようとするため、これを提出するものです。

以下、決議文を読み上げまして説明とさせていただきます。

令和5年度予算に係る政策提言に関する附帯決議。

令和5年度各会計の予算審査においては、倉成市長が就任後の最初の当初予算である中で、「未来に向けた羅針盤づくり」が、「未来投資枠事業」や「市政発展のための戦略プロジェクト」の下で、どのようにまちづくりが進められるかの検討を行った。

その中でも「決算認定に係る政策提言に関する附帯決議の処理状況」を中心に、新年度予算においてそれらが確実に反映されたかを中心に議論が交わされた。

総務部門では、自治体におけるDXの推進に当たって、行政窓口のデジタル化及び市内全域を対象としたデジタルサポーターの育成等について、市民の利便性向上と業務効率化を図ること、また、移住定住施策においては、地元の働き手の確保として地域おこし力隊制度の活用と支援の方向性を確認された。

次に、教育厚生部門では、妊娠から産後まで切れ目のない支援の強化と拡充する施策において、妊産婦応援給付金やタクシー助成、宿泊助成など、出産までの支援については示されたものの、産後ケア支援については、具体的な対応策が不十分との指摘がなされた。

次に、産業経済部門では、農林業や地場産業での次世代人材の育成に当たって、森林環境譲与税や地域おこし協力隊制度を活用して、林業担い手の確保や鋳物産業の後継者育成に取り組む方向であることが確認された。

次に、建設環境部門では、立地適正化計画におけるコンパクトシティの概念導入に当たっては、今後、都市再生整備計画で各地域の拠点の特性を生かしたまちづくり方針を定め、多極型のネットワークを形成する方向であることが確認された。

以上の認識の下、先の決算認定時に提言した多くの項目が実現に向けて着実に進められている中であって、なお、令和5年度予算において不透明である下記事項に対し、令和5年度中における課題解

決の取組がなされるよう市長に対し政策を提言表明する。

記。

1、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、産後ケアの支援強化と実施体制の構築について、早急に実行すること。

以上、決議する。

令和5年3月7日。

奥州市議会予算審査特別委員会。

以上であります。

何とぞ満場のご賛同を賜りますようお願い申し上げまして、決議の説明とさせていただきます。

○委員長（藤田慶則君） これより質問に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤田慶則君） お諮りいたします。ただいま議題となっております令和5年度予算に係る政策提言に関する附帯決議は、説明がありましたとおり、その附帯決議とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤田慶則君） ご異議なしと認めます。よって、附帯決議は原案のとおりとすることに決しました。

なお、附帯決議案、委員長報告の字句など、整理を要するものにつきましては、その整理を正副委員長に一任させていただきたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤田慶則君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

以上をもって、本特別委員会に付託になりました予算議案11件の審査は全て終了いたしました。

これをもって本特別委員会を閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤田慶則君） ご異議なしと認めます。よって、予算審査特別委員会はこれをもって閉会といたします。

ご協力ありがとうございました。

午前10時37分 閉会